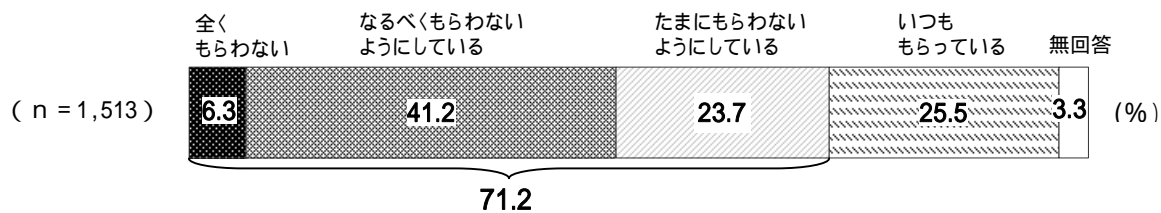


9 .【レジ袋の削減について】

(1) 買い物をする時のレジ袋受け取り状況

問31 あなたは、買い物をするときにレジ袋をもらいますか。(は1つ)

< 図表 31 - 1 > 買い物をする時のレジ袋受け取り状況



買い物をするときにレジ袋をもらうかどうかを聞いたところ、「全くもらわない」(6.3%)、「なるべくもらわないようにしている」(41.2%)、「たまにもらわないようにしている」(23.7%)を合わせた『もらわないようにしている』(71.2%)は、7割を超えている。(図表31 - 1)

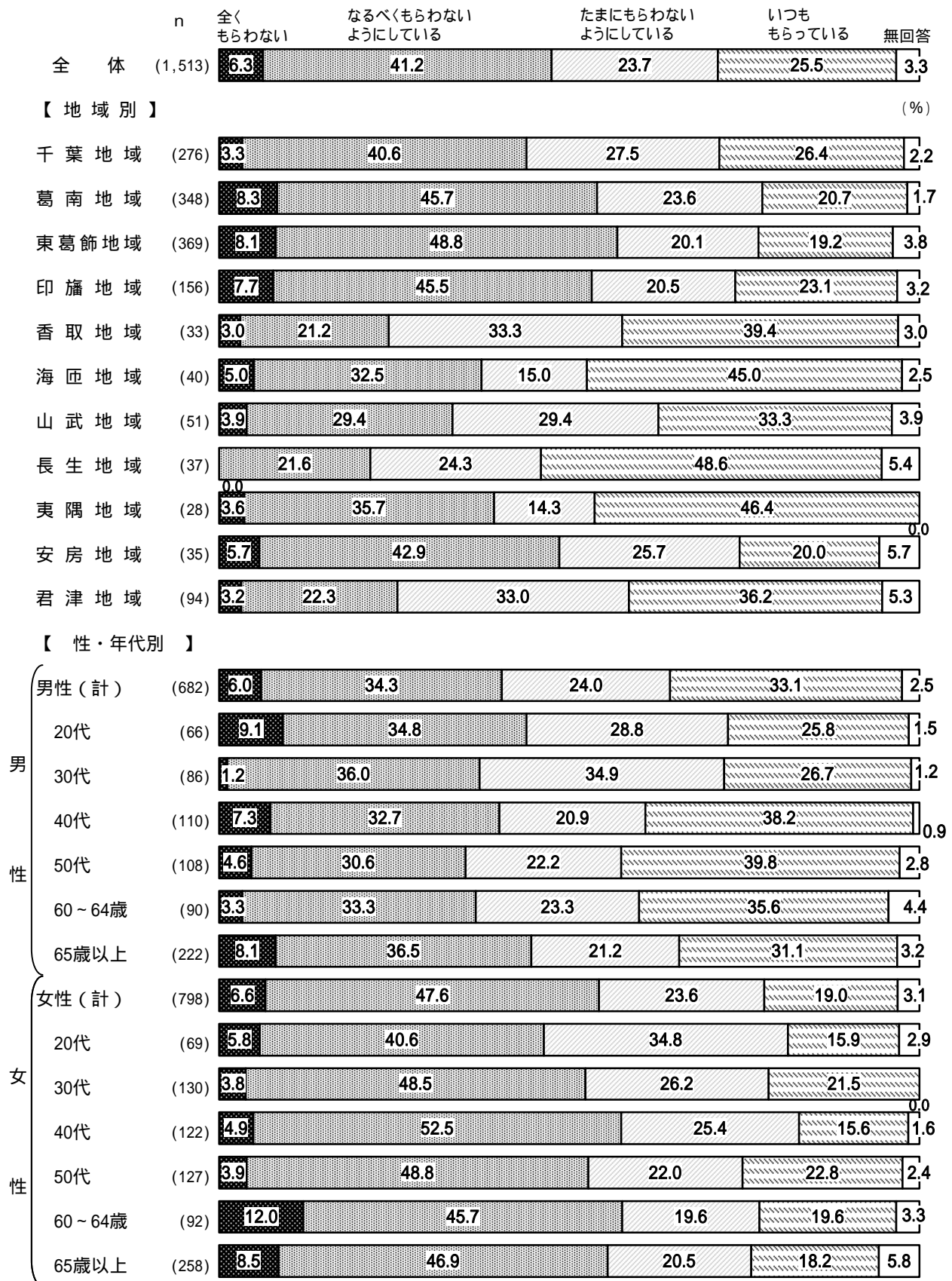
【地域別】

地域別にみると、『もらわないようにしている』は“葛南地域”(77.6%)、“東葛飾地域”(77.0%)が約8割と他の地域に比べ多くなっている。(図表31 - 2)

【性・年代別】

性・年代別にみると、『もらわないようにしている』は男性では20代(72.7%)、30代(72.1%)が7割を超え、女性では20代(81.2%)、40代(82.8%)が8割を超えて他の年代に比べ多くなっている。(図表31 - 2)

<図表 31 - 2 > 買い物をする時のレジ袋受け取り状況 / 地域別、性・年代別

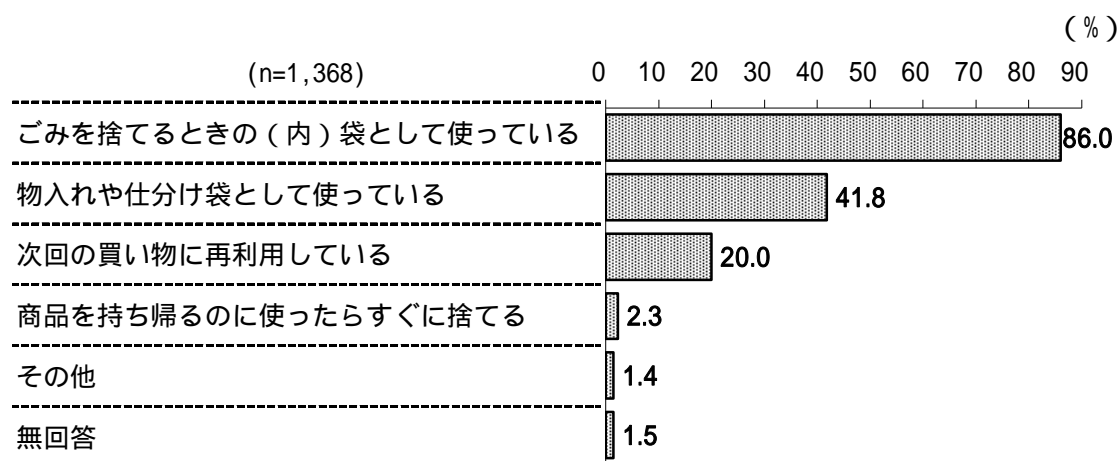


(1 - 1) 買い物でもらったレジ袋の活用方法

(問31で「2」～「4」とお答えの方に)

問31-1 あなたは、買い物でもらったレジ袋を主にどのように扱っていますか。(は2つまで)

<図表 31 - 1 - 1 > 買い物でもらったレジ袋の利用方法



レジ袋を「なるべくもらわないようにしている」、「たまにもらわないようにしている」、「いつももらっている」と回答した人(1,368人)に、買い物でもらったレジ袋の利用方法を聞いたところ、「ごみを捨てるときの(内)袋として使っている」(86.0%)が8割台半ば、次いで「物入れや仕分け袋として使っている」(41.8%)となっている。(図表31-1-1)

【地域別】

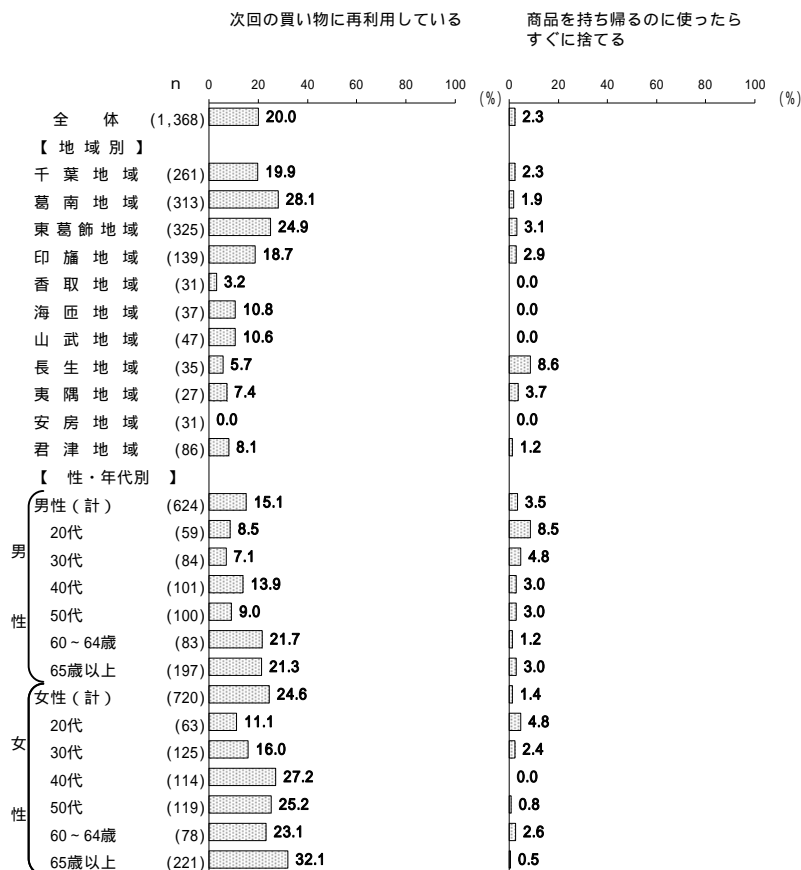
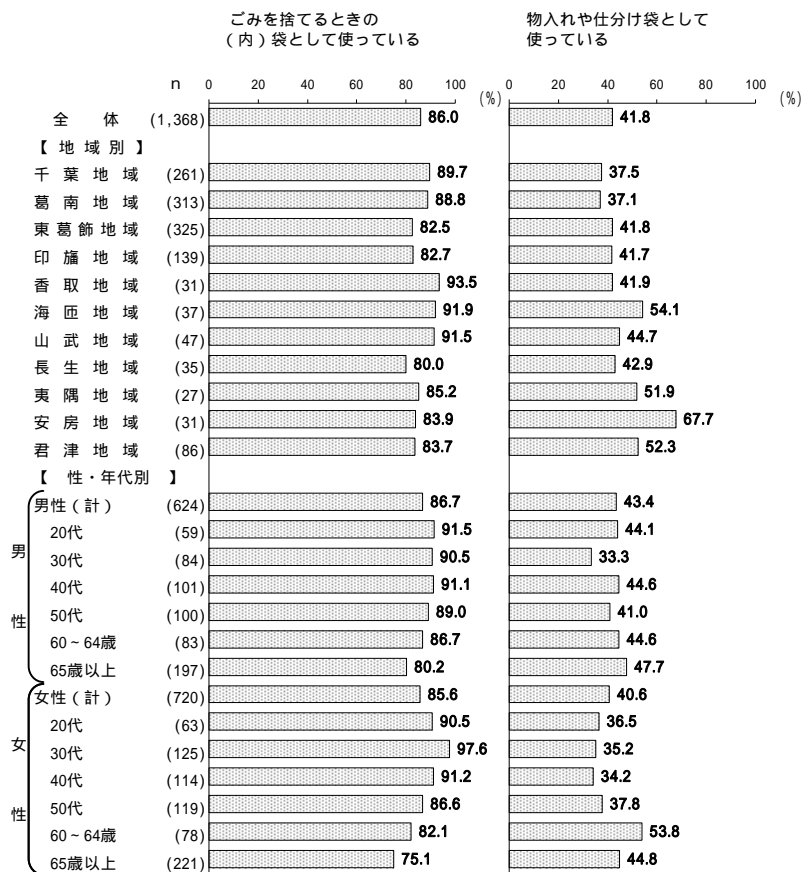
地域別にみると、「ごみを捨てるときの(内)袋として使っている」で“香取地域”(93.5%)が9割台半ばと他の地域に比べ多くなっている。(図表31-1-2)

【性・年代別】

性・年代別にみると、「ごみを捨てるときの(内)袋として使っている」は男性では20代(91.5%)、30代(90.5%)、40代(91.1%)、女性では30代(97.6%)が他の年代に比べて多くなっている。

(図表31-1-2)

<図表 31 - 1 - 2 > 買い物でもらったレジ袋の利用方法 / 地域別、性・年代別

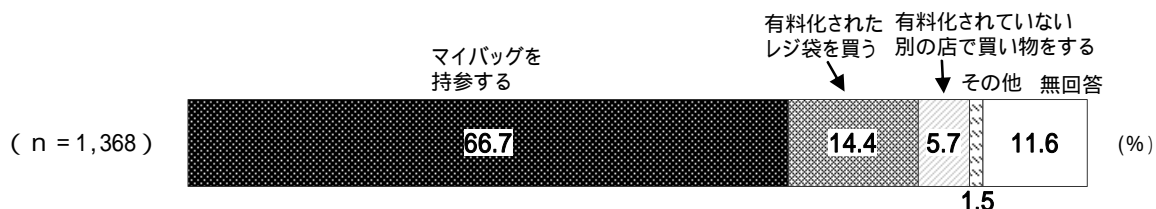


(1 - 2) レジ袋が有料化された場合の対応

(問31で「 2 」～「 4 」とお答えの方に)

問31-2 あなたは、いつも買い物をする店でレジ袋が有料化された場合、主にどのようにしますか。(1 は1つ)

< 図表 31 - 2 - 1 > レジ袋が有料化された場合の対応



レジ袋を「なるべくもらわないようにしている」、「たまにもらわないようにしている」、「いつももらっている」と回答した人(1,368人)に、レジ袋が有料化された場合の行動について聞いたところ、「マイバッグを持参する」(66.7%)が最も多く6割台半ばである。次いで、「有料化されたレジ袋を買う」(14.4%)、「有料化されていない別の店で買い物をする」(5.7%)となっている。

(図表31 2 1)

【地域別】

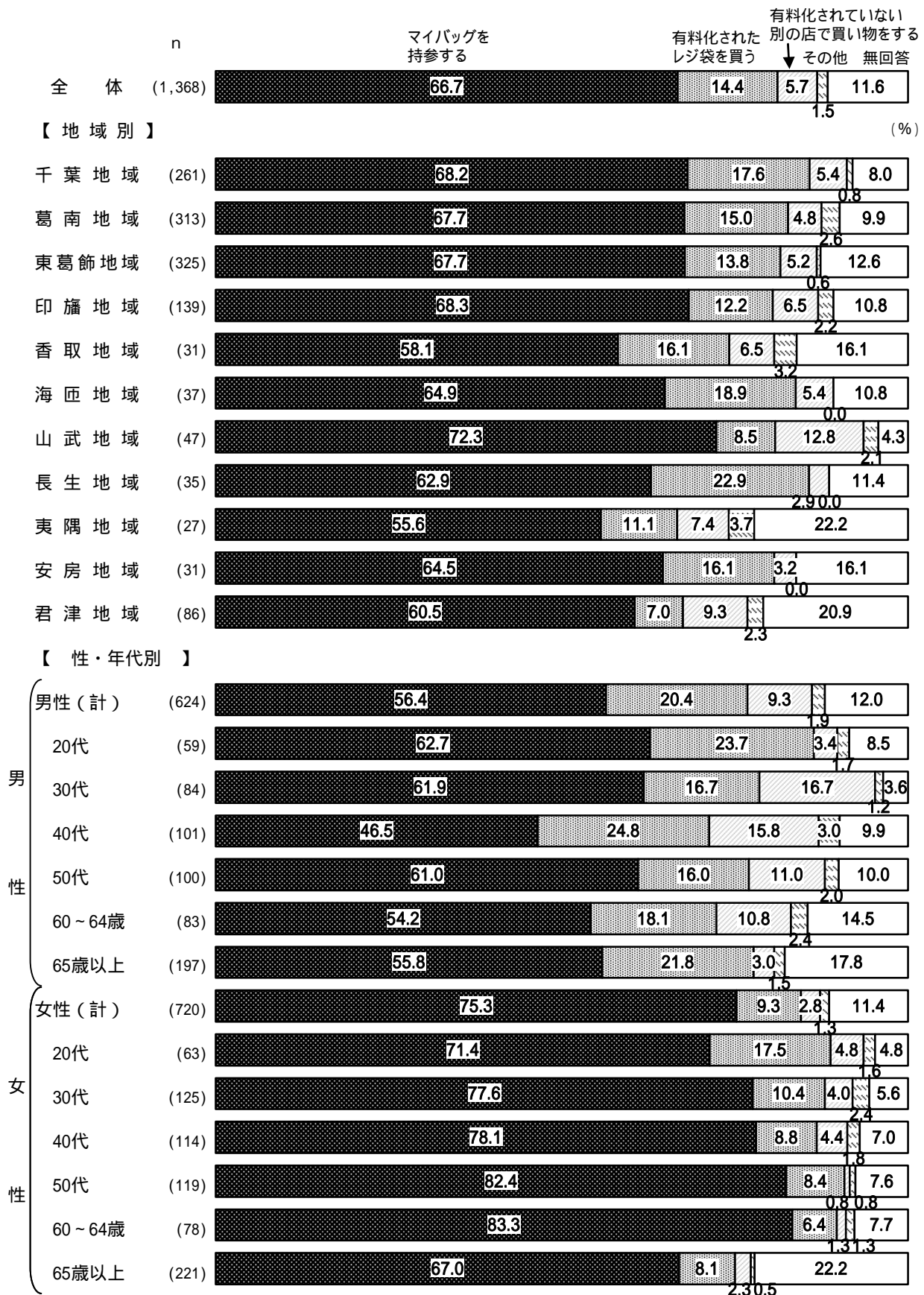
地域別にみても、「マイバッグを持参する」では“山武地域”(72.3%)が7割を超えて他の地域に比べ多い。「有料化されたレジ袋を買う」においては“長生地域”(22.9%)が2割を超えて他の地域に比べて多くなっている。(図表31 2 2)

【性・年代別】

性・年代別にみても、「マイバッグを持参する」では女性の方が多く、特に女性60～64歳(83.3%)が8割台半ばである。男性では、20代(62.7%)が他の年代に比べて多くなっている。

(図表31 2 2)

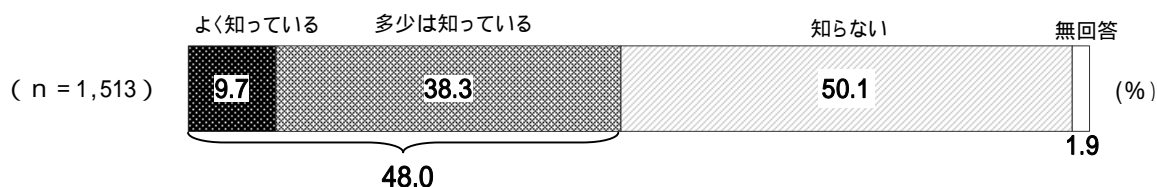
<図表 31 - 2 - 2 > レジ袋が有料化された場合の対応 / 地域別、性・年代別



(2) 全県的なレジ袋削減の取り組み認知度

問32 あなたは、県で実施している全県的なレジ袋削減の取り組み(ちばレジ袋削減エコスタイル)について知っていますか。(は1つ)

<図表 32 - 1> 全県的なレジ袋削減の取り組み認知度



全県的なレジ袋削減の取り組みについて聞いたところ、「よく知っている」(9.7%)と「多少は知っている」(38.3%)を合わせた『知っている』(48.0%)は、約5割となっている。(図表32 1)

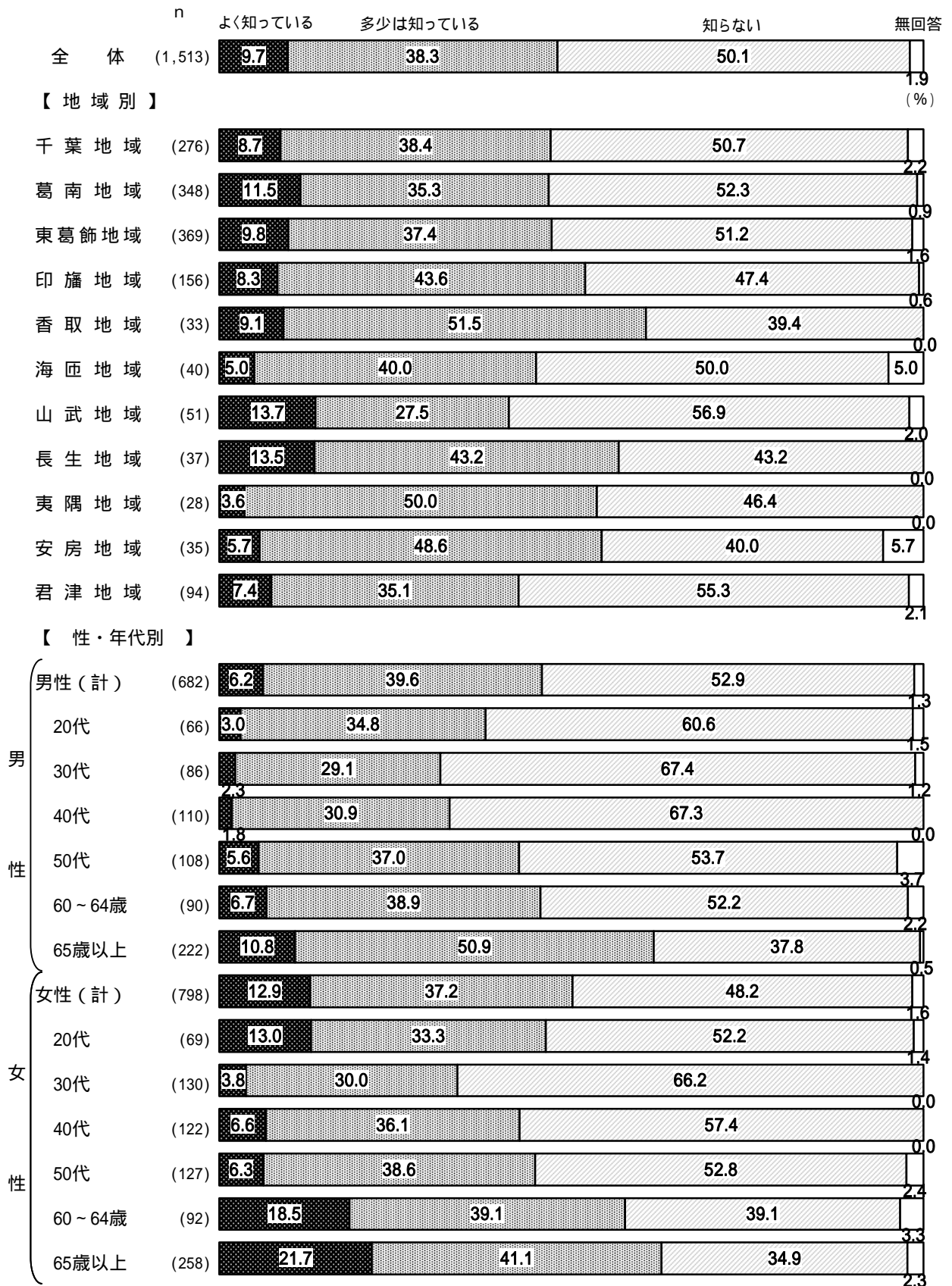
【地域別】

地域別にみても、『知っている』は“香取地域”(60.6%)が6割と他の地域に比べ多くっている。(図表32 2)

【性・年代別】

性・年代別にみても、『知っている』は男女65歳以上(男性61.7%、女性62.8%)が共に6割を超えて他の年代に比べ多くっている。(図表32 2)

<図表 32 - 2> 全県的なレジ袋削減の取り組み認知度 / 地域別、性・年代別



このほかに、「レジ袋の削減について」やここまでの質問（問31～問32）について、ご意見やご提案があればご自由にお書きください。

ご意見やご提案を自由に記述していただいたところ、146人から回答が寄せられた。一部抜粋してご意見を記載するものとする。

「レジ袋の削減について」の自由回答（抜粋）

レジ袋は昔のふるしき、古新聞包装に比べ衛生的で、レジ袋はありがたく、使わせて貰って居ります。レジ袋の用途は多く、削減など考えること不要。（男性・65歳以上・葛南地域）

学校・幼稚園で時々「スーパーのレジ袋を持ってくる」などということがある。なので時々レジ袋も必要な。（女性・30代・千葉地域）

スーパーごとに対応が違うが、袋の代金を値引きするより、課金する方が削減活動に有効だと考えています。（女性・40代・葛南地域）

レジ袋を分別ゴミ（燃える）用に利用可とすれば、自治体ごとの指定袋は必要ないと思われるのだが。（男性・65歳以上・印旛地域）

県のレジ袋削減運動の、県民にとってのメリットをもっとアピールすべし。

（男性・60～64歳・葛南地域）

レジ袋を無くすことがエコの様に言われていますが、レジ袋がなくなれば代替品が必要になるので、無くすことでなく再利用をPRすべきである。（男性・65歳以上・東葛飾地域）

近所のスーパーでもマイバッグ派はまだ少ないと感じています。ゴミ袋1枚でどれだけのCO2削減になるか例を挙げて、わかりやすいパネル表示などしてはどうかと思います。これも個人の感じ方で、ひとりくらいという安易な考え方から、みんなでマイバッグをの考え方に変わる強い啓発をすべきだと思います。（女性・50代・海匝地域）

実際必要なので、全くそのサービスをなくすというのはおかしいと思う。身近なリデュースターゲットとして、レジ袋があげられる事が多いが、他のものでももっと本当に必要ないものがあるはずで、そちらをレジ袋と同じくらいとりあげて欲しいと思います。（女性・30代・葛南地域）

レジ袋は、これからは、申し出た方だけに有料で渡すように国全体がしていけば、それが当たり前になると思う。今の日本ほど便利な国は他には無い！！ そのつけは必ず国民に戻ってくる。

（女性・50代・東葛飾地域）

全て有料化（レジ袋が）になるのはきつい面があるが、マイバッグを持参する取り組みは推進すべきだと思う。（女性・20代・君津地域）

レジ袋の有料化をするなら全てのお店で実施し、早急に取り組んで欲しい。レジ袋だけでなく、簡易包装を推奨してほしい。（女性・40代・葛南地域）